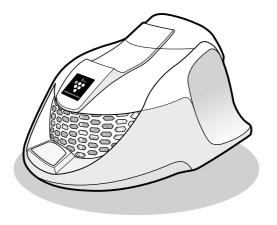


プラズマクラスター技術搭載 ヘルメット消臭機



取扱説明書・保証書

DP-H1



プラズマクラスターマーク(図形)及び プラズマクラスター、 Plasmacluster は、 シャープ株式会社の商標です。

目 次

| 安全上のご注意 | 2 |
|---|------------------|
| 各部のなまえ | 4 |
| · 本体 ······ | 4 |
| ・操作パネル | 4 |
| ・ACアダプター | 4 |
| · 背面 ······ | 5 |
| · 底面 ······ | 5 |
| 設置方法 | 6 |
| ヘルメットの設置 | 6 |
| | |
| 運転のしかた | 7 |
| | 7 |
| 運転のしかた | , |
| 運転のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| 運転の しかた | 8 |
| 運転のしかた お手入れ ・本体 ・吸入口 | 888 |
| 運転のしかた お手入れ ・本体 ・吸入口 ・フィルター | 8 8 9 |
| 運転のしかた お 手入れ ・本体 ・吸入口 ・フィルター ・電極部 | 8 8 8 9 |

特徴

ヘルメット消臭機にヘルメットを設置してスイッチON。

本体前面より空気を取り入れ、ヘルメット内に直接プラズマクラスターイオンを放出。ヘルメットの内に染み付いたニオイまで、しっかり脱臭します。

- ●ヘルメット内装の付着臭(汗臭)を分解除去。
- ●ヘルメット内の浮遊力ビ菌を除菌。
- ●試験機関:シャープ(株)調べ ●試験方法:汗のニオイ成分を染み込ませた布片の脱臭効果を6段階臭気強度表示法にて評価。(プラズマクラスターイオン濃度:250,000個/cm³
- ■試験結果:約4時間で気にならないレベルまで脱臭。※
- ※付着しているニオイの種類・強さ・衣類の素材などによってニオイ除去効果は異なります。 吹き出す風の当たらない部分のニオイは取れません。

ヘルメット消臭機をご購入いただきまして誠にありがとうございます。 ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をよく理解して正し くお使いください。

取扱説明書は、いつでも取り出して読めるような場所に置いてご活用ください。 本書の内容は予告なく変更されることがあります。

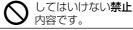
安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を防止するためお守りいただくことを 説明しています。

■表示を無視して、誤った取り扱いをすることに ■お守りいただく内容の種類を、 よって生じる内容を次のように区分しています。

次の表示で区分しています。

ある」内容です。



「軽傷を負う、または財産に損害 注意 | 軽陽で見り、おにしれます。 を受けるおそれがある]内容です。 必ずしなければなら ない強制内容です。

感電や漏電、発火などによる 事故やけがを防ぐ



- コードを傷付けない。加工・無理に曲げる・引っ張る・ねじるなどしない。重いものを載せたり **挟み込ませない**(コードが破損し、火災・感雷の原因) 傷が付いた場合はお買い上げの販売店、またはお客様相談窓口にご相談ください。
- タコ足配線はしない (火災の原因)
- A C アダプターのコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない (感雷・ショート・発火の原因)
- 濡れた手でACプラグ・本体接続用プラグを抜き差ししない(感電・けがの原因)
- 持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えない(けが・故障の原因) 万一、本製品を落としたり破損した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口に ご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 改造はしない。修理技術者以外の人は、分解や修理をしない(火災・感雷・けがの原因) 修理はお買いあげの販売店、またはお客様相談窓口にご相談ください。
- 幼児の手の届く範囲では使用しない(感電・けがの原因)
- 吹出口や吸込口に手を入れない。ピンや針金などの異物を入れない (感電・けが・異常動作の原因)
- ルーバーを取外した状態で運転しない(火災・感電・故障の原因)



- **家庭用交流100V~240Vで使用する**(火災・感電・故障の原因)
- 必ず付属のACアダプターを使用する(火災・感電・故障の原因)
- A C アダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む (感電・発煙・発火の原因)
- A Cアダプターのほこりなどは定期的に取り除く(火災の原因)



- お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜く(感電・けがの原因)
- 雷が鳴り出したら運転を停止して、ACアダプターをコンセントから抜く (火災・感電・故障の原因)
- 異常時(こげくさいにおい・発熱・変色・変形など)は、運転を停止してACアダプターを コンセントから抜く(火災・感電の原因) お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

感電や火災などによる 事故やけがを防ぐ



- ご使用や設置時は、本体に乗らない(けが・故障の原因)
- 次の場所では使用しない
 - ・浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所。
 - ・食用油など油成分が浮遊している場所。
 - ・理・美容室、クリーニング店など、スプレーや化学薬品を使う場所。 (感電・故障の原因)
 - ・ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かない。 (落ちたりして、けが・故障・ヘルメットの破損の原因)



● ACアダプターを抜くときには、必ずACアダプター本体を持って抜く (感電・ショート・発火の原因)

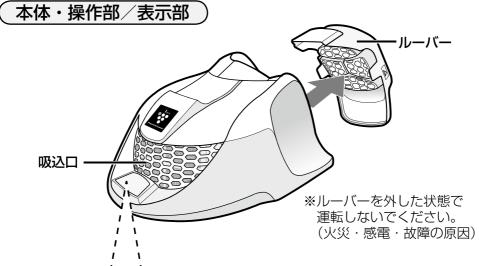
ブラグを抜く ● 使用時以外は、ACアダプターをコンセントから抜く (絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)

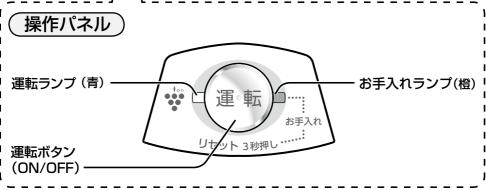


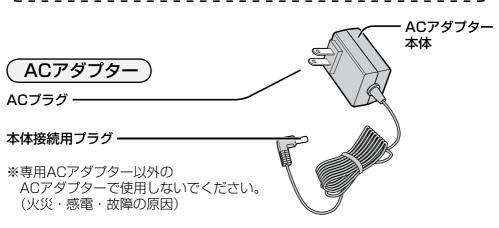
- ヘルメット消臭機の近くでは、フッ素樹脂やシリコーンを配合した化粧品 など* は使わない。
 - * ヘアケア商品 (枝毛コート液・ヘアームース・ヘアートリートメント など)、化粧品、制汗剤、静電気防止剤、防水スプレー、つや出し剤、 ガラスクリーナー、化学ぞうきん、ワックスなど。

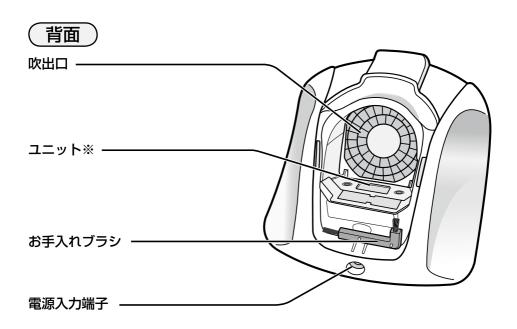
本体内部にフッ素樹脂やシリコーンなどの絶縁物が付着し、プラズマク ラスターイオンが発生しなくなることがあります。その場合、ユニット (電極部)のお手入れをしてください。

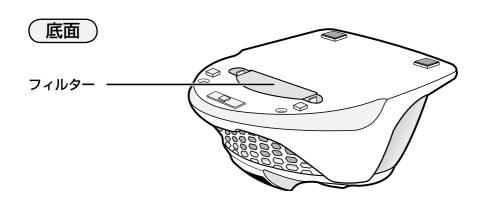
各部のなまえ











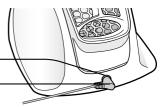
※ユニットとはプラズマクラスターイオン発生ユニットのことです(以降同様)

設置方法

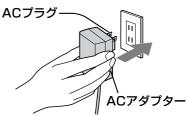
ACアダプターの接続と本体の設置

▲ ACアダプターの本体接続用プラグを 本体の電源入力端子へ差し込みます。

☆のより。 電源入力端子: 本体接続用プラグ:



2 ACアダプターのACプラグを コンセントへ差し込みます。



- 3 部屋の水平で安定した場所に本体を設置してください。
 - 設置時のご注意
 - 必ず安定した平らな台の上に置く。(本体・ヘルメットが落下するような場所には設置しない)
 - 吸込□・吹出□をふさがない。
 - テレビやラジオ、パソコンにノイズが入ったり電波時計が正しく表示しないときは、テレビ・ラジオ・パソコン・電波時計などからできるだけ離す。
 - 0~35℃の室内で使用する。

同じ場所で長時間使用されますと、本体周辺の壁・床・じゅうたんなどが汚れることがあります。

本体設置場所をときどき動かしたり、周辺や本体設置面を定期的に掃除されることをおすすめします。(床面の汚れについては、本体の下にマットなどを敷いていただくと、効果的です)

ヘルメットの設置



- ・空気が循環するように、シールドを開けてください。
- ・ヘルメットが濡れている場合は水滴をきれいにふきとってください。

<フルフェイスタイプ> 「



<ジェットタイプ>



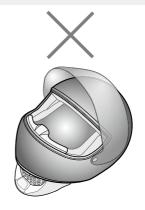
<ハーフタイプ>





- ・ヘルメットをセットする時に吸入口をふさがないでください。
- ・アゴひもや内装で吸出口をふさがないでください。

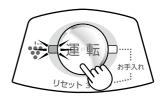




運転のしかた

運転「入」

運転ランプ 「青」 が点灯し プラズマクラスターイオンを放出します。



プラズマクラスターイオンの効果を得るために8時間以上運転(*)を続けてください。

* ヘルメットの状態によって異なります。効果が得られない場合はさらに続けて使用 してください。

運転「切」

運転ボタンを押すと運転ランプ (青) が消灯して、 運転が停止します。



8時間以上運転された後に匂いが十分取れない場合は運転を停止後フィルターと電極部のお手入れを行ってから再び運転してください。

お手入れ



お手入れを行う時には、運転を止め、本体から接続プラグを外し、 ACアダプターをプラグから外してから行ってください。

本体

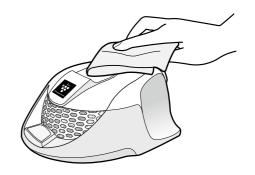
1ヶ月に1回程度

表面を柔らかい布で拭く

<汚れが落ちにくいとき>

台所用合成洗剤を水で薄めた液に浸した布を固くしぼって吹いてください。

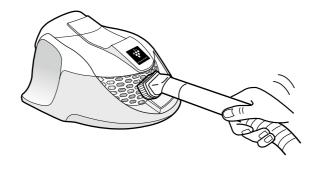
その後、洗剤が残らないように、よく拭取ってください。



吸入口

1週間に1回程度

吸入口のほこりを掃除機で吸取る



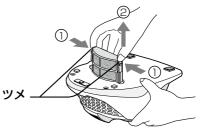
フィルター

お手入れランプが点灯した時

イオン濃度を維持するためには、フィルターと電極部のこまめなお手入れが必要です。 お使いになる環境によってフィルターの汚れ度合いが異なりますので、お手入れラン プが点灯していなくても、1ヶ月に1回程度またはフィルターがほこりで目詰まりした ら、フィルターと電極部のお手入れをしてください。

▲ フィルターを外す

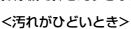
フィルターは本体の底面側に取付けられています。ツメの両側をつまんでそのまま引き抜く。



2 フィルターを清掃してください

フィルターのほこりを掃除機で吸い取る。

フィルターが傷みますので、 掃除機で押さえすぎないでください。



台所用合成洗剤を使うときは、洗剤が残らないようによく洗い流してください。 また、必ず日陰で乾かしてください。

3 フィルターを本体に取り付ける ツメがしっかりかかるまで本体にフィルターを差し込みます。





フィルターを外した状態で運転しないでください。 ホコリが本体に入り、故障の原因となります。

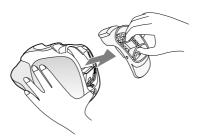
▲ 続いて電極部のお手入れを行ってください。

お手入れランプが点灯した時

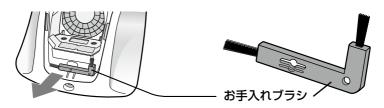
電極部

お手入れランプが点灯していなくても、1ヶ月に1回程度フィルターのお手入れと合せて行ってください。

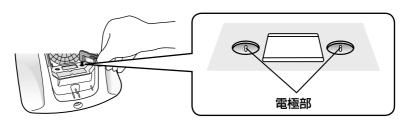
1 ルーバーを取り外す 手で本体をおさえて、ルーバーを引き抜いてください。



2 お手入れブラシを取り外す お手入れブラシは本体背面に取り付けられています。



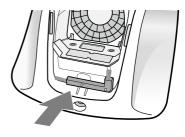
3 ユニットの電極部に付いたほこりを お手入れブラシや、市販の綿棒で取り除く



- ご注意
- ●電極部に触れない。 (けがのおそれ)
- ●電極を変形させない。(故障の原因)
- ●汚れが落ちにくい場合は、市販 の綿棒を少し水で湿らせてから お手入れをしてください。

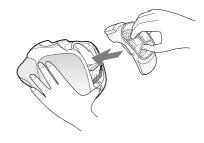
⚠ お手入れブラシを元の場所に戻します

本体のピンに取り付けます。



与 ルーバーを取り付けます

本体を手で押えて、 ルーバーを差し込みます。

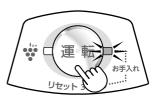




ルーバーを取外した状態で、運転しないでください。感電や故障の 原因となります。

秦 運転ボタンを、3秒以上押す(リセット)

お手入れが終了したら、ACアダプター、接続プラグを接続して、運転ボタンを3秒以上押してお手入れランプを消灯してください。



仕様

| 形 名 | DP-H1 | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|
| | ACアダプター | | | | | |
| 電源 | 入力: AC 100V-240V - 50/60Hz - 0.3A 出力: DC 12V 1A | | | | | |
| 消費電力 | ЗW | | | | | |
| 外形寸法(mm) | 165(幅) X 233(奥行) X 121(高さ) (ACアダプター含まず) | | | | | |
| 電源コード長さ (ACアダプター) | 約1.8m | | | | | |
| 質 量 、 | 約570g (ACアダプター含まず) | | | | | |

付属品: ACアダプター, 取扱説明書(保証書付)

故障かな?

| 問題 | 対 策 |
|--|--|
| ・運転ランプ (青) が点灯しない。 (ヘルメット消臭機が作動していない) | ・ACアダプターが正しく取り付けられ ていますか? 正しく接続してくだ さい。(6ページを参照) |
| 運転 | |
| ・お手入れランプ (橙) が点灯して いる。 | ·フィルターや電極部が汚れているの でお手入れをしてください。(9ペー ジを参照) お手入れ後にON/OFFボ タンを3秒間押してください。 |
| 少七少ト 3秒押し | |
| ・運転ランプ (青) とお手入れランプ (橙) が点滅している。 | ・故障です。ACアダプターを外し、お買いあげの 販売店またはデイトナお客様相談窓 口へご相談ください。 |
| か手入れ リセット 389申し | |

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

- 1「故障かな?」(13ページ)を調べてください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず AC アダプターをコンセントから抜いて本体接続プラグを本体から抜いてください。
- 3 お買い上げの販売店にご連絡ください。

お客様相談窓口のご案内

商品についての修理・使いかた・お手入れ、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買い上げの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

株式会社 デイトナ お客様相談窓口

フリーダイヤル 0120-60-4955

デイトナ保証規定

1. 保証期間

保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から1年間とします。

2. お客様にお守りいただく事項

当社商品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守りください。守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますのであらかじめ、ご了承ください。

- (1)車両本体メーカー発行のサービスマニュアルに示された取扱い方法及び当社の取扱い説明書に示す取付け・ 取扱い方法にしたがって使用すること。
- (2)運行前点検および保守、整備を実施すること。
- (3)定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。

3.保証できない事項

- (1)次に示す事項は保証修理いたしません。
 - ①経時変化あるいは使用損耗による不具合。
 - ②一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。(音、振動、オイルのにじみ等)
 - ③地震、台風、水害などの天災、事故および火災に起因する不具合。
 - ④煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。
 - ⑤法令に違反する改造および当社が認めていない改造。(適合車種以外への取付等)
 - ⑥通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。
 - ⑦前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったことに起因する不具合。
- (2)次に示す費用は負担いたしません。
 - ④発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。
 - ⑤ 商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。
 - ⑥お車を使用できなかった事による不便さ及び損失等。(電話代、レンタカー代、運送代、機会損失等)
 - ⑦この保証書に示す以外の費用、補償等。

4. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、当社商品と保証書をお買い上げの販売店にお持ち頂き、当社へ修理依頼をして頂きますようお願いします。提示されない場合、又はご連絡をいただいていない場合は、保証修理をいたしかねます。

5. 保証の発効

保証書は、お買い上げの販売店様が本保証書の販売店記入欄に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

◎保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものです。したがって保証期間経過後に 発生した不具合の修理は原則として有償です。ただし、保証期間経過後の不具合が使用損耗あるいは、経年変 化によるものではなく、その全部または一部が当社の責任に起因する場合は、その責任の度合に応じた適正な 範囲で修理いたします。

保証書

この度は当社商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この商品は当社の厳密な検査を経て出荷されておりますが、万が一通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、これを無償修理させていただきます。(以下これを保証修理といいます。)

保証修理依頼される場合は、下記の「お客様記入欄」のすべての項目を必ず記入していただいてから お買い上げいただいた販売店へこの保証書および商品をご持参いただくか、デイトナに直接ご連絡 ください。その時、使用状況等を記入した別の用紙(形式は問いません)を添えていただくようお願い いたします。

| お客様記入欄 | | | | 販売店記入欄 | | | |
|------------------------|---|---|---|------------------------------------|---|---|---|
| ご購入年月日: | 年 | 月 | 日 | 販売日: | 年 | 月 | 日 |
| 商品番号 | | | | | | | |
| 商品名 | | | | 店 名 | | | |
| ^{フリガナ} お名前 | | | | 住 所 | | | |
| ご住所 〒 | _ | | | TEL | _ | _ | |
| TEL | _ | _ | | *ご記入がない場合は、購入日を証明できるものを必ず添付してください。 | | | |

◎お願い お買い上げいただいた際に販売店の方に「販売店記入欄」をご記入いただくか、使用期間、 購入日を証明できるものを必ず添付してください。提示されていない場合は、保証修理いた しかねます。

≠リトリセン

販売元 株式会社 **デザーナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

URL: http://www.daytona-mc.jp E-mail: info@daytona.co.jp ©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「お客様相談窓口」0120-60-4955まで

製造元 シャープ株式会社